

宝塚市パークマネジメント 計画等審議会

第7回審議会 資料説明

日時 令和7年10月21日（火）
午前10時～
宝塚市役所 3階 3B会議室

本日の流れ

1. 開会

2. 議題

● 第7回審議会における到達目標（資料1、2）

【報告事項】

① 公园区計画の作成の流れ・調整状況（資料1）

【審議事項】

② 街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容（資料1、3-1、3-2）

【関連事項】

④ 開発協力金制度の検討状況（資料1）

⑤ シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディング実施 （資料1）

3. 閉会

第7回審議会における到達目標

(資料1、2)

今回の到達目標

■審議のポイント

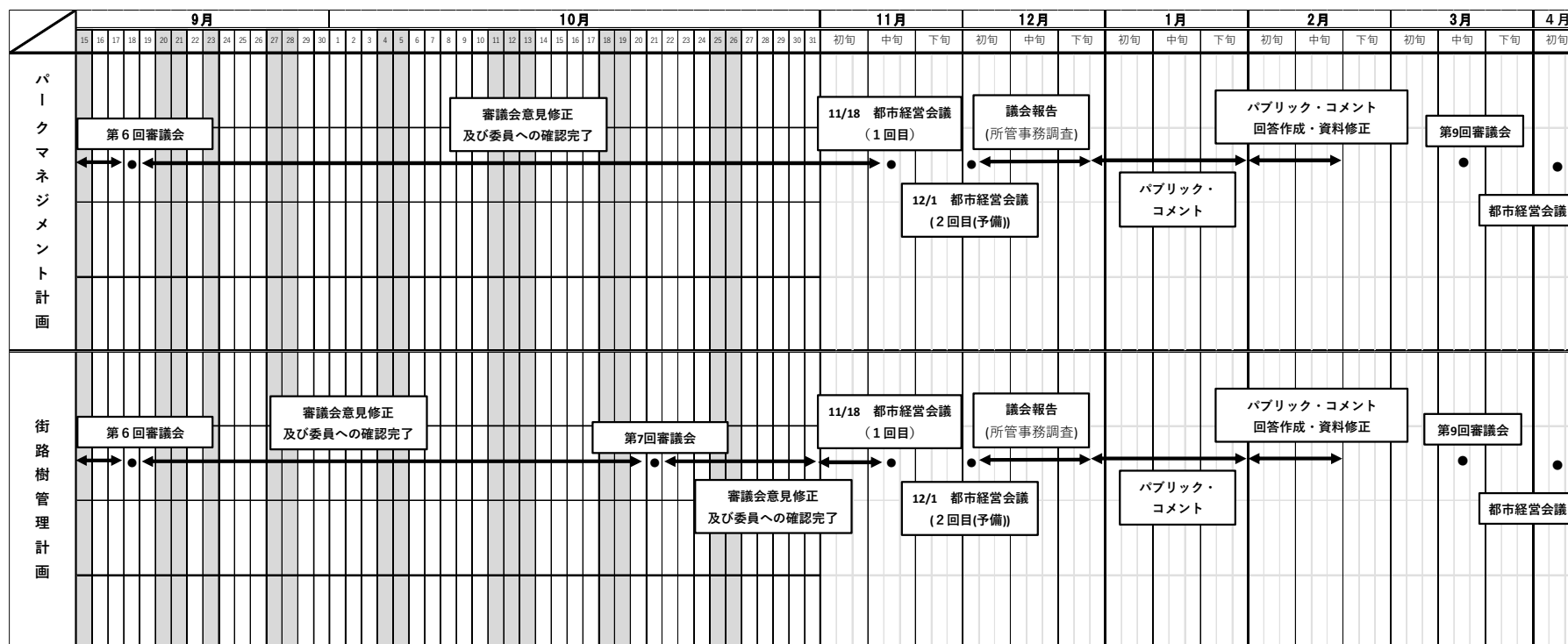
- ・ 今回の全体的な流れ、今後の審議会等の予定の確認
- ・ 報告事項、主要審議事項、関連事項における各到達目標の確認

今後の審議会・部会における審議・検討の流れ（案）

資料2

状況		開催済み					今回	開催予定	
会議	開催時期	令和5、6年度	令和7年6月2日	6月30日	8月19日	9月18日	10月21日	12月18日	令和8年3月中旬
	審議会 部会	審議会4回 部会3回	第4回部会	第5回審議会	第5回部会	第6回審議会	第7回審議会	第8回審議会	第9回審議会
会議の内容		②～⑧について 審議・確認等を実施	・パークマネジメント計画及び 概要版(案)の審議 ・公園区計画作成の進捗報告 ・街路樹管理計画(案)の審議 ・シビックゾーン進捗の報告 ・都市計画公園見直しガイドラ イン素案修正方針等の確認 ・開発提供公園のあり方検討 の進捗の報告		・パークマネジメント計画及び 概要版(案)の確定 ・公園区計画の作成方針の確 認 ・街路樹管理計画(案)及び概 要版の確定 ・都市計画公園見直しガイドラ イン修正案の確認 ・開発提供公園のあり方検討 の進捗の報告 ・シビックゾーン進捗の報告		・街路樹管理計画の案及 び概要版の確定	・公園区計画作成状況の 確認 ・民活導入手法(案)の確 認 ・包括管理委託事業の確 認 ・桜の園基本方針の検討 内容の確認	・パークマネジメント計画 及び概要版(案)の審議 ・街路樹管理計画及び概 要版(案)の審議 ・公園区計画の作成状況 の確認 ・都市計画公園見直しガ イドラインの報告
①パブリックコメント (パークマネジメント計画、 街路樹管理計画)※意見 募集の実施は2026年1 月予定					パブコメ(案) の確認(パーク マネジメント計 画)	パブコメ(案) の審議(パーク マネジメント計 画)	パブコメ(案)の審議(街 路樹管理計画)		パブコメ結果(パークマ ネジメント計画、街路樹 管理計画)の報告
②パークマネジメント計 画の成案化		パークマネジメン ト計画(素案)の審 議	計画案の修正 内容の検討	計画案の修正 内容の審議	概要版の確認	概要版の審議			パブコメ意見を踏まえた 計画の審議
③街路樹管理計画の成 案化		街路樹管理計画 (素案)の審議	計画案の内容の 検討	計画案の内容の 審議	計画案、概要 版の確認	計画案、概要 版の審議	計画案、概要版の確認		パブコメ意見を踏まえた 計画の審議
④公園区計画の作成等		公園区計画の目 的や作成方法等 の確認	地域の協力状 況に関する報 告	地域の協力状 況、今後の予 定等の報告	公園区計画の 作成状況の確 認	公園区計画の 作成状況の確 認	公園区計画の作成状況の 確認	公園区計画の作成状況の 確認	公園区計画の作成状況の 確認
⑤シビックゾーン魅力向 上に向けたPark-PFI等 民間活力導入手法の検 討		サウンディングの 実施方針、配布資 料等の確認	サウンディン グの実施状況 の報告	サウンディン グの実施状況 の報告	サウンディン グ結果の速報		サウンディング結果の報 告	民活導入手法(案)の確認	
⑥都市計画公園見直しガ イドライン(案)の作成		ガイドライン素案 の構成等の確認	ガイドライン素 案の修正方針 等の確認	ガイドライン素 案の修正方針 等の確認	ガイドライン修 正案の確認	ガイドライン 修正案の確認			ガイドラインの報告(予 定)
⑦開発提供公園のあり方 や公園開発協力金制度の 検討		提供公園のあり 方等の確認	開発協力金制 度進捗の報告		開発協力金制 度進捗の報告		開発協力金制度進捗の報 告		
⑧公園及び街路樹の包 括管理業務委託の検討		包括管理委託の 検討目的等の確 認						包括管理委託事業案の確 認	
⑨桜の園基本方針								検討内容の確認	

パブリックコメントの実施スケジュール（案）



注：パブリック・コメントとは、市が計画や条例案などを策定するときに、案の段階で市民の皆様に公表し、意見などを募集し、提出された意見などを考慮しながら意思決定を行うとともに、意見などに対する市の考え方もあわせて公表していく一連の手続きをいいます。

今回の到達目標について

	項目	資料の概要	到達目標のイメージ
報告事項	公園区計画の作成の進め方・調整状況	公園区計画作成に向けた流れ、地域との調整状況	公園区計画作成に向けた流れ、地域との調整状況について確認
審議事項	街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容	街路樹管理計画案及びその概要版の修正版	街路樹管理計画案及びその概要版の修正内容に関する確認等
関連事項	開発協力金制度の検討状況	これまでの経緯と今後の予定	開発協力金制度の検討経緯と今後の予定について確認
	シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディング実施	サウンディングの実施結果、今後の予定	サウンディングの実施結果、今後の予定等の概要について確認

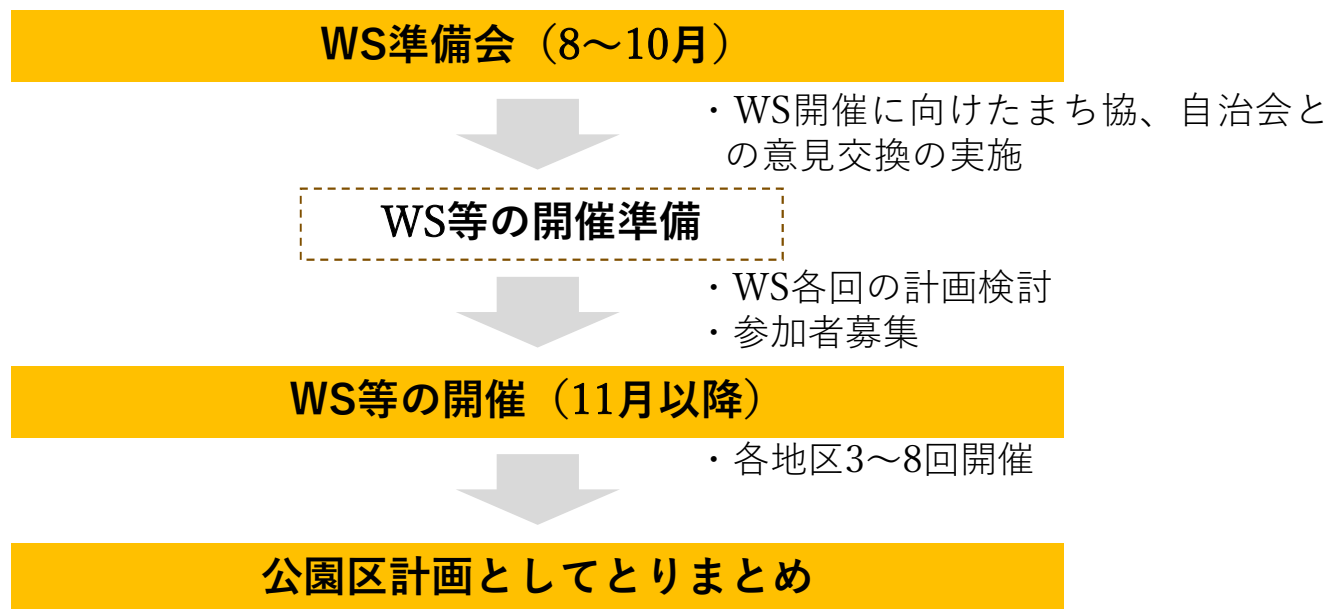
【報告事項】

① 公園区計画の作成の流れ・調整状況
(資料1)

① 公園区計画の作成の流れ・調整状況

ア) 進め方

ワークショップ（WS）等開催の準備として、まちづくり協議会、自治会との意見交換（WS準備会（注））を実施。WSの開催計画に地元意見を適宜反映したうえで、WSを開催。



注：WS準備会では下記の意見交換を実施

- ① 子ども・子育て層を含む地域の方々の巻き込み方の相談
- ② 対象公園に関する意向の確認
(全体的な計画にするのか、全体を見据えた何公園かの計画など)
- ③ スケジュール及び各回の内容（案）の共有

イ) まちづくり協議会の意向確認状況

- ・ 各まちづくり協議会、自治会と計画作成に係る考え方、進め方を確認している。

●先行地区（長尾、中山台、宝塚の3公園区）における準備会日程

公園区名	準備会日程
長尾	第1回準備会 7月28日（月） 第2回準備会 9月22日（月） WS等の実施に向け調整。必要に応じて第3回準備会を実施する。
中山台	第1回準備会 8月3日（日） 第2回準備会 10月11日（土）
宝塚	第1回準備会 8月30日（土） 現在、WSの内容等について確認中。 必要に応じて第2回準備会を実施する。

（※各回の意見概要については資料1（p6）参照）

●各公園区における公園区計画作成の進め方

公園区名	概要	対象公園	具体的な進め方
長尾	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園区が広く地域性も異なることから、小学校区ごとに4つの地域に分け取り組む方針。 ● 事前にアンケートを実施し、地域のニーズ等を把握した上で、WSにおいてそれらを踏まえた計画の取りまとめを行う。 	平井公園 山本丸橋3丁目公園 山本野里公園 (※中筋5丁目かいづか公園)	今後、準備会で検討
中山台	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園区を複数の区域に分けて、各区域の主要な公園ごとに計画を策定する方針。 ● 対象公園のうち、中山中央公園ではWEBアンケートを実施し、結果を踏まえて、WSを行うかを含め、具体的なことを地域と話し合う予定。 ● その他の公園については、方向性や地域ニーズ等を各自治会が整理し、その内容を踏まえて、市と自治会が中心となり、整備運営方針を検討し計画として取りまとめる見通し。 	中山中央公園(WEBアンケート等実施) 中山桜台公園 中山五月台公園 中山台みどり公園	今後、準備会で検討。 また、市、各自治会が中心となり取りまとめる場合は、子ども、子育て層の意見の収集、反映方法についても検討する。
宝塚	<ul style="list-style-type: none"> ● WSを実施し、小規模公園の機能分担や管理方法、対象公園の管理運営等について地域のニーズ等を把握し、計画として取りまとめる方針を地域に提示。 	市の案を提示し、まち協及び自治会で検討中。(小規模公園が隣接しているところをピックアップ)	市の案を提示し、まち協及び自治会で検討中。

※中筋5丁目かいづか公園については、今年度はWSを実施しない。

【審議事項】

② 街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容

資料 1、3-1、3-2

審議のポイント

- 街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容について確認いただく

「街路樹管理計画」の案及び概要版の修正内容

第 6 回審議会 ご指摘事項

4 ページ 地域住民の落葉に関する苦情を受けて強剪定が行われるなど、社会的・制度的な問題が見受けられる。伐採に過度に焦点を当てないよう留意する必要がある。

2-2 街路樹が抱える問題

(社会的・技術的課題) として下記の通り修正しました。

高度成長期に植栽された街路樹は、早期の緑化を目的として、もともと幅員の狭い歩道や限られた植樹枠の中に、生長の早い大高木が高密度で植えられました。当時は、樹木がある程度成長した段階で更新することを前提として整備されていましたが、沿道住民にとっては長年の付き合いの中で愛着が育まれ、容易に更新できない状況となっています。

一方で、落葉清掃に関する苦情を背景に、強剪定を行う事例が増加しています。樹木の成長に伴い剪定管理費は年々増加しており、本来であれば年1回の剪定が望ましいものの、実際には2年に1回あるいは3年に1回の間隔となっています。そのため、次回の剪定まで建築限界を侵さないことを目的に強剪定が実施され、街路樹景観の悪化を招いています。

この課題は宝塚市に限らず、全国的に見られる一般的な問題となっています。

第 6 回審議会 ご指摘事項

4 8 ページ 5-2-6の説明文の表現を検討してほしい。

5-2-6 防犯上の配慮事項

過密化した植栽間隔が間違った表現でしたので下記の通り修正しました。

道路等で発生する犯罪を防止するためには、周囲からの見通しを確保する必要があります。樹木が**過剰に繁茂した植栽帯（高木・低木を含む）**における低木類の剪定、高木の下枝剪定を適切に実施して犯罪抑制に配慮した維持管理を行います。

第 6 回審議会 ご指摘事項

56 ページ 常緑低木の特性説明文を見直す必要がある。

説明文を見直し、右
図に差し替えました。

ホソバシャリンバイ	オタフクナンテン
 <p>シャリンバイと同等の特性で葉が細いのが特徴です。刈込により樹高を低く抑えることが出来ます。</p>	 <p>ナンテンのわい性園芸品種で樹高が高くなり、葉が赤い（カラーリース）のが特徴で景観に色どりを与えます。</p>
マホニアコンフューサ	アベリア ‘ホープレイズ’
 <p>ヒイラギナンテンの近縁種で、日向でも日陰でも生育します。樹高が高くなった場合は根元から切除すると自然樹形を維持できます。</p>	 <p>半常緑低木ですが、宝塚のような温暖な地域では年中常緑です。葉を縁取る覆輪斑は色が変化して景観に色どりを与えます。</p>

第 6 回審議会 ご指摘事項

63 ページ 6-2-1のグリーンインフラに配慮した住民花壇スペースのご指摘を受け、根系誘導耐圧基盤の設計に配慮することで相乗効果が得られることに着目し59ページに下記内容を追加しました。

■根系誘導耐圧基盤を施工することによる相乗効果 (グリーンインフラ：雨庭)

雨庭は、雨水を一時的に「ためる・しみこませる・ゆっくり流す」ことを目的として整備されるもので、次の効果があります。

- ・都市型洪水の緩和
- ・雨水の浸透による地下水涵養
- ・汚濁物質の浄化
- ・緑地としての景観・生態系機能

景観や生態系機能を重視し、雨水を「溜めて植栽に吸水させる」設計を前提として、根系誘導耐圧基盤の表層部分を透水性資材とすることで、根系誘導耐圧基盤の構造自体が雨水貯留機能を果たし、グリーンインフラとしても有効な施設となります。

第 6 回審議会 ご指摘事項

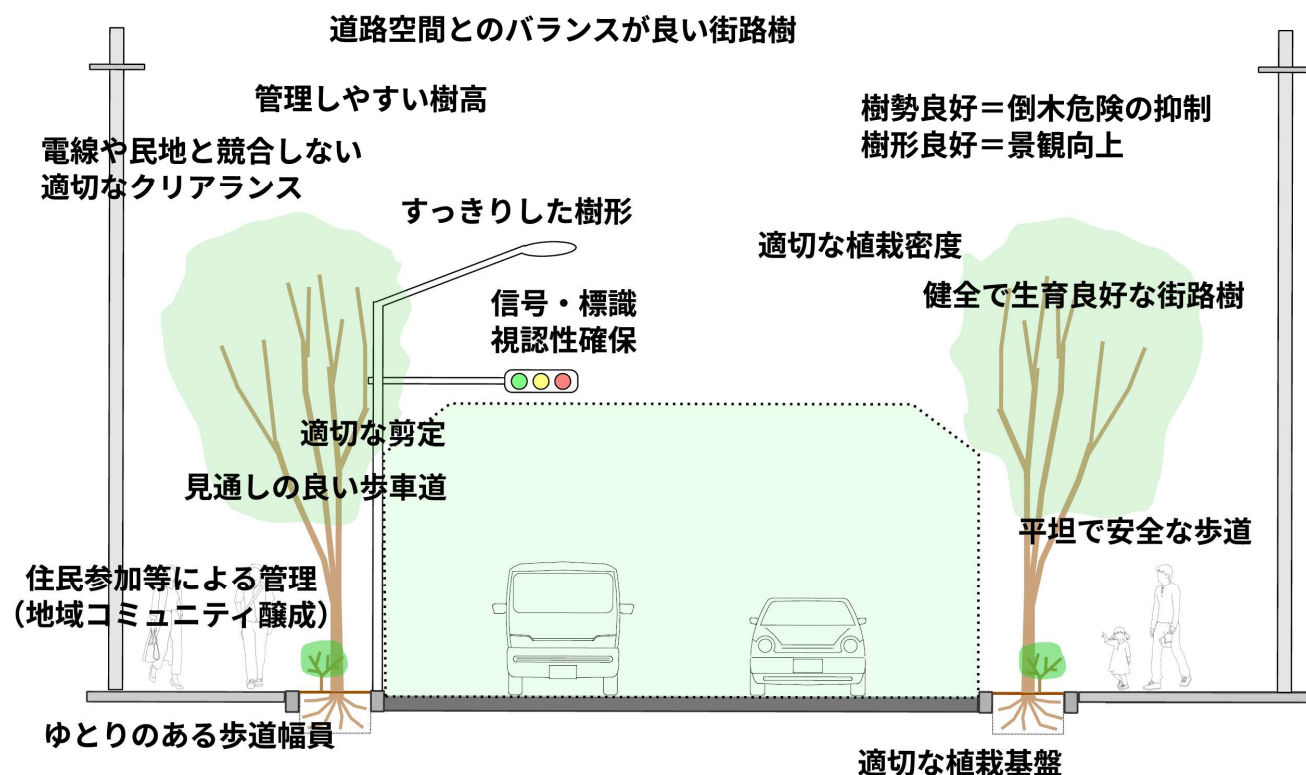
6 3 ページ 6-2-1のグリーンインフラに配慮した住民花壇スペースの説明文と事例写真について。石を置くだけでは、グリーンインフラの考え方を取り入れたことにはならないのではないかと。また、本格的に雨庭にしようとする、「石をよける」、「戻す」という使い方は難しいのではないかと。

5 9 ページの追加内容とリンクし、**グリーンインフラに配慮した考え方**という表現に修正しました。

第6回審議会 ご指摘事項（概要版）

3 ページ 「将来の街路樹」のイラストは樹木が刈込すぎではないか。

下記図に差し替えました。



第 6 回審議会 ご指摘事項（概要版）

7 ページ イメージ説明の文末を「伐採」「撤去」ではなく、改善されていくことが伝わる表現を検討してほしい。

下記の表現に修正しました。

○歩道幅員が狭く、十分な歩行空間が確保できない路線について必要に応じて樹種の転換や樹木の間伐など行ない、安全・安心な歩道空間の確保に努めます。

○山間部など周辺に永続的な緑が確保されている路線の樹木は環境保全や景観向上の効果が薄く、相互の生育環境を妨げている場合などは、段階的に撤去して樹木の良い生育環境を整えます。

○交差点や横断歩道付近等で見通しの支障となっている樹木を撤去し、歩行者、及び通行車両の安全確保に努めます。

第 6 回審議会 ご指摘事項（概要版）

12 ページ 花のみちの説明観光客だけでなく、市民にとっても重要な役割があり、そうした役割を踏まえた表現としてはどうか。

下記の通り修正しました。

1960年以降には、宝塚ファミリーランドと宝塚歌劇へ向かう道は、市民及び観光客で大いににぎわっていました。宝塚ファミリーランド閉園後も、宝塚歌劇や市立手塚治虫記念館などの本市を代表する観光資源へと誘う遊歩道となっています。

1960年以降、宝塚ファミリーランドと宝塚歌劇へ向かうこの道は、市民及び観光客で大いににぎわい、宝塚ファミリーランド閉園後も、宝塚市民の日常的な散策利用をはじめ、観光客を宝塚歌劇や手塚治虫記念館、文化芸術センターなど本市を代表する観光資源へと誘う遊歩道となっています。

【関連事項】

- ③ 開発協力金制度の検討状況
- ④ シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディング実施状況

③ 開発協力金制度の進捗

資料 1

ア) これまでの経緯と今後の予定

【これまでの経緯】

- 令和6年11月11日 第三回審議会
⇒①開発提供公園のあり方検討の背景、②基本的な考え方、③具体的な方策の案について報告

【進捗状況】

- 法制担当課と協議
開発協力金制度の創設について協議し、法的な課題については概ね解決。
（負担金を開発地に還元する仕組み、都市計画法施行令第25条第6項ただし書きの公園整備が不要な場合の整理など）
⇒正式な条例案や協力金の運用面などの調整を行っている。

【今後の予定】

令和7年12月頃：条例案の作成及び関係課との調整完了予定
令和8年1月上旬：議会資料の提出
令和8年3月：議会
令和8年4月1日：施行

④ シビックゾーン魅力向上に向けた サウンディングの実施

資料 1

※「サウンディング」とは、市場の反応を事前に調査する手法を意味します。

本事業では、市役所をはじめとする公共公益機能や健康・スポーツ機能が集積している市役所を中心とする一体の施設整備・運営について民間事業者の参入を求める場合、事業者側の事業成立に関する考えや事業内容の提案などを確認する調査を意図しています。

●実施スケジュール

日程	内容
令和7年3月21日(金)	実施要領の公表 終了
令和7年4月25日(金)	事前説明会の参加申込み期限 終了
令和7年5月12日(月)	事前説明会の開催 終了
令和7年5月23日(金)	サウンディングに関する質問提出期限 終了
令和7年6月6日(金)	上記質問への回答（市HPに一括して掲載予定） 終了
令和7年6月20日(金) ～6月27日(金)	エントリーシート・提案書提出期間 終了
令和7年7月14日(月) ～7月31日(木)	サウンディング（個別対話）の実施 終了
令和7年10月2日	サウンディング結果概要の公表実施 終了

ア) 実施概要

宝塚市役所周辺（シビックゾーン）の魅力向上に向けて、民間事業者から様々なアイデアや意見等をお聞きし、官民連携事業の可能性の確認や公募に向けた検討に活かすためにサウンディング調査を実施。

事前説明会、書面による提案提出などを経て、計10者の民間事業者と対話を行った。

実施事項	実施スケジュール	参加事業者数
事前説明会	令和7年5月12日	18者
対話	令和7年7月14日～30日	10者

イ) 対話参加者のおもな業種

建設業、建物メンテナンス業、公園管理事業、人材アウトソーシング業、
スポーツ施設や駐車場等の特定の施設の運営業 等

ウ) 提案の概要

(1) 管理・活用に関する提案が多かった施設

- * 末広中央公園、市役所前ひろば、中庭ひろば・市役所ロータリーなどのオープンスペースと市役所内駐車場や末広中央公園駐車場に関して、それらを一体的に運営・活用したマルシェや体験プログラムの提供などにより、日常的に人が集まる場所とする提案があった。
- * 武庫川河川敷緑地について、河川の増水に対する懸念はあるものの、イベント等には有効に活用できるという意見があった。
- * スポーツセンターについて、現施設を活用しながら、さらにシビックゾーン内の各施設や武庫川河川敷緑地、民間スポーツ施設にもネットワークを広げて活用するなどの提案があった。
- * 市役所本庁舎・第2庁舎、教育総合センター等の建物内の活用の提案は少なかったものの、建物の維持管理業務については、個別に発注するよりも、できるだけ一括とする方がコストダウンが図れるという意見があった。

(2) 施設整備・再整備に関する提案が多かった施設

- * 末広中央公園でのカフェや休憩所兼パークセンター（管理事務所）の整備、市役所内駐車場や末広中央公園駐車場の立体化などの意見があった。
- * 市役所前ひろばや武庫川河川敷緑地をより一層活用するために、電気・給排水等のインフラ設備を追加する提案もあった。また、利用者のニーズによるが、各施設の部分的な改修は可能との意見もあった。

エ) その他の留意事項や、市に対して求めること（意見）

- * 今回のサウンディングを踏まえて、市がシビックゾーン全体の方針や計画、目指す姿を示すことで、事業者はより具体的な提案を出せるようになるだろう。
- * シビックゾーンだけでは魅力向上の範囲に限られるため、宝塚駅周辺等も一体的に取り組むべき。
- * 建物とひろばなどのオープンスペースでは、維持管理や運用に関するノウハウや体制が全く異なるため、一体的に取り組むべきではない。
- * 末広中央公園は、カフェの出店希望がある。
- * 末広中央公園は、電気設備があれば、大規模なイベントの開催が可能。
- * 末広中央公園は、日影が足りない。
- * 末広中央公園側に駐車場の増設が必要。
- * 老朽化したスポーツセンターのプールの維持管理は、難しい。
- * 末広体育館は、空調整備が無く、老朽化も進んでいるため、維持管理と運営ともに負担が大きい。
- * 公民館は、利用の制約が多いため活用が難しい。
- * ひろばは、何をする場所か想定されておらず、活用が難しい。
- * 全体として、今の利用状況を考えると大きな設備投資は難しい。
- * 全体として、商業的には魅力を感じない。
- * 管理事務所が欲しい。

オ) 今後の予定（見込み）

今回のサウンディングで民間事業者等の皆様からいただいたご意見を参考に、シビックゾーンの今後のあり方についての検討を進める。

- **令和7年度** **シビックゾーンの今後のあり方についての市の考えを整理**

（この段階で、事業化に向けた詳細サウンディングを実施する可能性あり）

- **令和8年度頃** **シビックゾーンでの事業化に向けた検討**

- **令和9年度頃** **シビックゾーンでの官民連携事業に向けた事業者公募**

説明資料は以上です。
ご清聴ありがとうございました。